

保護アヒル・アヒルの里親さんになるとき・・・

野外のアヒルを保護され、飼育されるケース

ほとんどの動物病院では、詳しいアヒルの診療は難しそうなのですが、糞便検査は犬猫専門の病院でも可能ですので検査をお願いします。

既にアヒルや別のペットを飼育されている場合は、しばらくは小屋を別々に隔離されたほうが良いでしょう。野外にいたアヒルは雑草の上や野原で暮らしていました。ダニ、ノミが付いている場合があります。

犬や猫用のダニ・ノミ除けで構いませんので目の周りを避け、首の後ろに吹き付けてください。ダニは見えている成虫を除去できても卵が残っている場合があります。

こまめに水浴びをさせてあげてください。

やってきたアヒルは雛から育てていないので、刷り込み時期があったのか？なかったのか？何歳なのかもわかりません。愛されていたはずなのに、何も知らない、誰も守ってくれない野外に放り出されてしまいました。たっぷり食べていたご飯もない、外敵が目を光らせている。とても不安で怖い経験をしてきたでしょう。

「人間なんて！」そう思っても仕方がありません。

しかし、縁あってまた人間と暮らすようになりました。

一度人間の手を離れ野生化したアヒルは、警戒して噛み付くかもしれません。でもそのように人間を遠ざけていたから、野外でも危険を逃れ暮らすことができました。

アヒルはなかなか頭が良いのです。また人間を信用するまで待つてあげてください。

今まで決まったご飯が食べられなかったアヒルは、容器に入ったご飯を誰にも取られてはいけないっ！早く食べなきゃいけないっ！このように焦ってたいらげようとします。

次にいつご飯にありつけるかわからない環境にいたせいか、ワシヤワシヤ、ドタドタと周囲を汚してしまうかもしれません。


あなたの家にいるアヒルと同じ姿なのに、全く違った行動をします。

小屋に入りなさいと誘導しても逃げ回るかもしれません。

だけど、同じように可愛がってあげてください。

「ご飯をくれる人だ！」そう思っても警戒します。人間の側に寄って来るなんて、できません。怖い思いをしてきたのなら尚更です。鷹の目のようにするどい視線で見つめてきます。遠くからが良いのです。そのうち目が合うようになり、距離が縮まり・・・、

アヒルは「いつもこの人側にいるなあ。」と、認識していきます。

飼い方・健康など アヒルに関することはこちらへ  <http://ahirunetwork.org/>